

南大分地域まちづくりビジョン概要

【提言1：道路をはじめとする生活基盤の整備・充実】

①交通渋滞の緩和対策

- ・バイパスを整備するなど、渋滞の緩和対策を実施
- ・幹線道路のみならず、狭隘な生活道路においても朝夕の通勤による渋滞が慢性化している。
- ・右折ポケット整備などの道路改良【整備箇所の例：国道442号（田中五差路）、大分挾間線（田中西交差点）、小挾間大分線（南大分交差点・竹の上）】

②高齢者に優しい公共交通網整備

- ・高齢者がバス利用時に路線の乗り換えが安全で容易にできるよう場所を確保・整備する（バスロータリーの設置）。
- ・高齢者には歩道橋などを渡りバス停へ移動するのは大変であり、整備がなされれば、1人で通院や買い物などができるようになる。

③安全・安心な道路整備

- ・最優先で危険な通学路の整備を実施する。
- ・道路幅が狭いことから、電柱を片側に寄せるなどの整理をし、児童が転落しないように、通学路にある初瀬井路には蓋かけをする。

④コミュニティバス事業

- ・南大分の病院、駅、まちなかを100円で周遊できるコミュニティバスの運行
- ・誰もが、気軽に病院や買い物、学びに出掛けることのできる環境づくり

【提言2：人が集い、人が繋がる地域コミュニティの形成支援】

⑤各校区公民館の新設

- ・校区公民館を新設する（南大分地域には校区公民館が無い現状）。
- ・校区単位のイベントが行える規模の公民館を新設し、子どもからお年寄りまで利用できる校区のコミュニティの場とする。
- ・公園を併設した公民館とすることで、災害時の避難場所としても位置付ける。

⑥南大分公民館の新設

- ・南大分公民館を利便性の高い場所へ移転し、施設を充実させる。（学習スペースの設置、駐車場、駐輪場の拡充、公園とこどもルームの併設など）
- ・若い人たちの勉強の場をつくとともに、公民館に南大分の歴史に関する展示を行うことで郷土の誇りを醸成する。
- ・公園とこどもルームを併設することにより、子どもから親、お年寄りの世代まで集えるコミュニティの場とする。

⑦子どもと高齢者のふれあい事業

- ・子ども（親含む。）と高齢者が一緒に料理をして食事をする場を設け、コミュニケーションをとる。
- ・高齢者のQOL（クオリティオブライフ）向上と子どもの居場所づくり
- ・南大分の飲食店などを利用することにより、地域活性化につなげる。

⑧南大分地区各種団体連合会

- ・南大分地区にある各種ボランティア団体等のアドバイザー的な組織を地域で立ち上げる。
- ・4校区の課題の集約や、解決の成功事例の共有、各種団体への支援などを実施
- ・各種団体の参加者の増加と人的交流を促進し、地域活性化につなげる。

⑨中学生と（小学校高学年を含む。）と高齢者のペア活動による安全確認

- ・高齢者と子どもがペアとなり、日常は高齢者が見守りを、非常時は子どもたちが安否確認など助け合いを行う仕組みを作る。
- ・地域の絆、こころの優しさづくりや連帯感が生まれる（どうやってペアを作るか、個人情報関係が課題）。

⑩地域住民同士の交流の促進～皆の顔がわかるまちづくり～

- ・幅広い世代が参加できるイベントの開催（運動会、春のお神楽、鑑賞会など大人から子どもまで集まるイベントを企画）
- ・いろんな行事への参加者が固定化し、減少傾向にある中、関心度の高いイベントを開催し、連帯感を醸成する（自治会の後継者選びにもなる。）。
- ・人と人とのつながりが生まれることにより、住みやすいまちになる。

⑪子どもから高齢者まで健康なまちづくり

- ・スポーツパーク、河川敷を整備し、歩こう会、サイクリングのイベントなどを実施
- ・子どもから高齢者までの健康づくり

⑫河川を活かしたまちづくり

- ・昔盛んだった明礮の屋形船を復活させるなど、河川の利活用を図る（昔は、川が交通手段の一つでもあった。）。

【提言3：郷土愛の醸成と豊かな歴史・文化を活かした魅力発信】

⑬旧跡めぐりサポーターの育成

- ・子どもや一般向けに、南大分の歴史と旧跡を教える講座を実施し、ガイドスキルを身につけてもらう。
- ・旧跡のマップづくりや周遊コースづくりをし、月1回程度の散策イベントを実施する（人を呼び込む。地域の人の郷土愛を育む。）。